

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

1 公衆衛生業務のための体制整備等

- (1) 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- (2) 各種予防接種や健診等のデータ管理のための健康生活支援システムの機器更新を行った。

2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、乙訓2市1町及び(一社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 4回

乙訓保健予防行政事務協議会 9回

乙訓保健事業運営委員会 12回

3 「向日市食育推進計画」に基づき、各種取組を行った。

(1) 食育講座の開催

テーマ：「薬膳からみえてくること」

参加者数： 56人

(2) 食育啓発用の紙芝居、エプロンシアターの貸出し

(3) 歯のひろばで「食育コーナー」を設け、啓発活動を行った。

(4) 乳幼児健診、離乳食教室、プレママクッキング、健康相談等で、栄養指導・相談を行った。

4 平成24年10月に京都府立医科大学、オムロンヘルスケア株式会社と三者で締結した、産学公による「市民の健康づくりに関する協定」に基づく事業を実施した。

(1) 向日市民健康づくり会議の開催 1回

(2) 向日市ひまわり栄誉賞表賞式&市民健康講座

テーマ：市民みんなで取り組む健康づくり～のばそう「健康寿命」！～

参加者数： 279 人

(3) 向日市健康ウォーク

綾部市との友好交流ウォークを兼ねて実施した。

参加者数： 280 人

5 台風18号による水害後の家屋消毒を行った。

実施日数： 6日間

消毒家屋数： 242件（床上4件、床下238件）

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況 (単位：人、%)

診療日数 71日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0～5歳	6～15歳	16歳以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	4,906	2,122	1,126	1,658	3,272	930	22	682	1,180	2,269	432	823	202
構成比	100.0	43.3	23.0	33.8	66.7	19.0	0.4	13.9	24.1	46.2	8.8	16.8	4.1

2 在宅外科当番医制事業利用状況 (単位：人)

診療日数 71日	外科受診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送の人数
		0～6歳	7～15歳	16～64歳	65歳以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	356	60	42	164	90	116	208	32	1
1日平均	5.0	0.8	0.6	2.3	1.3	1.6	2.9	0.5	-

実施医療機関実数：25施設（診療所20、病院5）

実施医療機関延べ数：71施設（診療所24、病院47）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況 (単位：人)

居住地区分	入院					入院合計	外来					外来合計	総計	
	内科	小児科	外科	脳外科	その他		内科	小児科	外科	脳外科	その他			
乙訓	向日市	18	5	0	0	4	27	39	109	27	4	19	198	225
	長岡京市	11	16	4	3	9	43	77	161	41	12	45	336	379
	大山崎町	3	1	1	2	1	8	11	33	6	2	6	58	66
京都市	465	119	144	64	107	899	1,605	1,791	832	101	275	4,604	5,503	
その他	63	8	26	15	25	137	201	138	140	40	63	582	719	

4 地域医療関係事業

乙訓地域における救急医療を啓発・推進するために、乙訓2市1町、(一社)乙訓医師会、乙訓消防組合、乙訓保健所等が共催で、毎年事業を行っている。平成元年度からは、テーマを決めて講演会を行っている。

(1) 救急医療関係事業（乙訓救急フェア）

今年度は、本市が開催地で企画運営を行った。

内容：講演「あなたもできる応急手当～いざ！という時のために～」

AEDを使った救急蘇生の実技 など

参加者数： 119人

(2) 救急医療懇話会

前述機関に加えて、乙訓地域で救急患者を受け入れる病院の代表者も加わり、乙訓地域における救急医療の情報交換や救急搬送時におけるDNRケースについての意見交換及び感染症患者への対応についての意見交換などを行った。

④ 献血推進対策費（健康推進課）

市内7会場において、献血運動を行った。

実施回数	来所者数	採血者数	200ml 献血	400ml 献血
17回	521人	427人	11人	416人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センター（昭和58年度開設）の運営に伴う維持管理に要する経費を執行した。

保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、更に平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて4部門が共用する多機能施設となっている。

施設内の照明をLEDに改修した（平成25年度主要事業）。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター	家庭児童相談室
事業開催回数	116回	268回	31回	14回	
延べ参加者数	3,603人	6,024人	881人	151人	150人
会議・研修会等の開催回数	2回	14回	18回	41回	18回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

① 感染症対策費（健康推進課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種を実施した（平成25年度主要事業）。

A類予防接種：BCG、不活化ポリオ、麻しん、風しん、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症
ジフテリア、破傷風、百日せき、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症

B類予防接種：高齢者インフルエンザ

(1) 集団接種

種別	対象	通知者数	実施実人数	接種率
BCG	平成24年12月1日～平成25年9月30日生	336人	313人	93.2%

(2) 個別接種

種 類	通 知 対 象 者 等	対象者数	接種者数	接 種 率
B C G	高度専門的予防接種として実施した。	—	1 人	集団接種再掲
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	新たな通知は行わなかった。	—	543 人	—
Hib感染症※	平成25年1月1日～平成25年12月31日生	延べ1,687 人	1,845 人	109.4%
小児の肺炎球菌 感染症※	平成25年1月1日～平成25年12月31日生	延べ1,720 人	1,699 人	98.8%
四種混合※	平成24年12月1日～平成25年11月30日生	延べ1,356 人	1,278 人	94.2%
三種混合※	新たな通知は行わなかった。	—	484 人	—
ジフテリア 破傷風	平成13年4月2日生～平成14年4月1日生	555 人	362 人	65.2%
麻しん風しん 第1期	平成24年4月1日生～平成25年3月31日生	443 人	386 人	87.1%
麻しん風しん 第2期	平成19年4月2日生～平成20年4月1日生	546 人	528 人	96.7%
日本脳炎第1期	平成21年4月2日生～平成22年4月1日生	延べ1,350人	1,281 人	94.9%
日本脳炎特例1期	平成17年4月2日生～平成18年4月1日生	—	730 人	—
日本脳炎第2期	平成7年4月2日生～平成8年4月1日生	—	142 人	—
ヒトパピローマウ イルス感染症※	平成12年4月2日生～平成13年4月1日生	延べ831 人	125 人	15.0%
インフルエンザ	65歳以上の方	13,379 人	6,418 人	47.9%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級 相当の方	45 人	16 人	

※ 平成25年4月から Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種が定期接種となった。

※ 三種混合とは、ジフテリア・百日せき・破傷風混合予防接種をいう。

※ 四種混合とは、ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風混合予防接種をいう。

※ 平成25年6月からヒトパピローマウイルスの積極的勧奨が差し控えられた。

(3) 長期療養が必要な特定疾病に係る特例措置

平成25年2月から長期療養が必要な特定疾病のために定期予防接種の機会を逸した人に対する定期予防接種を行った。

麻しん風しん第1期予防接種	1 件
麻しん風しん第2期予防接種	1 件
不活化ポリオ	2 件
3 種混合予防接種	1 件

(4) 高度専門的予防接種

専門的予防接種が困難と判断された方に対して、京都府公立大学法人の病院において、専門的医学的管理の方に接種した。

BCG 予防接種 1 件

2 結核検診

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査(間接撮影)を肺がん検診と同時に市内10会場(6日間)で実施した。

実施月	実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果				未 受 診
				異常なし	結核	肺がん	その他	
9、10月	12 回	907 人	11 人	5 人	0 人	0 人	5 人	1 人

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費(健康推進課)

生活習慣病を予防するために各種健康診査を実施するとともに、がんを早期発見し早期治療に結びつけるために、各種がん検診を実施した(平成25年度主要事業)。

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分のからだに適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定(身長、体重、腹囲)、理学的検査、血圧測定、脈拍測定、検尿(蛋白、糖)、血液検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c)

イ 受診者数 381人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月8日から10月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定(身長、体重、腹囲)、理学的検査、血圧測定、検尿(蛋白、糖)、血液検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c)、必要者には心電図

イ 受診状況

	受診者数
生活保護受給者	44 人
国保異動者(国保会計負担)	40 人

(3) 長寿(後期高齢者) 健康診査

後期高齢者医療対象者について、個別医療機関において、7月8日から10月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定(身長、体重)、理学的検査、血圧測定、検尿(蛋白、糖)、血液検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、γ-GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c)、心電図

イ 受診者数 2,448人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて10日間実施した。受診率を向上させるため、平成21年度から午後の胃がん検診を開始し、また、乳がん検診と同時に受診できる枠を設けるなどの工夫をした。全日、大腸がん検診とも同時実施している。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃がん	他病	不明	
860人	746人	114人	13.3%	5人	1人	100人	0人	8人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

(ア) 西暦で偶数年(和暦で昭和は奇数年、平成は偶数年)生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した(実績には無料クーポン券対象の受診者も含む。)

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	子宮がん	異形成	他病	不明・未確定	
1,308人	1,276人	32人	2.5%	3人	2人	12人	2人	0人	13人

(イ) がん検診推進事業(子宮がん無料クーポン検診)

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
1,684人	446人	26.5%

※受診者数は再掲

イ 子宮体がん検診

子宮頸がん検診の受診者のうち、ハイリスク者及び医師が必要と認める方を対象に実施した。

受診者数	異常なし	判定不能	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
					異常なし	子宮体がん	他病	不明・未確定	
239人	230人	6人	3人	1.2%	0人	0人	2人	1人	0人

(3) 乳がん検診

ア 医師による視触診とマンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の西暦で偶数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて17日間実施した。

また、保健師による「自己検診法」の健康教育と「私の健康記録」の配布を同時に行った。
（実績及び検診日数には、がん検診推進事業も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
1,145人	1,029人	116人	10.1%	51人	1人	0人	7人	24人	26人	3人	0人	4人

イ がん検診推進事業(乳がん無料クーポン検診)

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
1,893 人	504 人	26.6 %

※受診者数は再掲

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内10会場（6日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精検未受診
					異常なし	肺がん	肺がんの疑い	他病	不明	
1,265人	1,085人	141人	39人	3.1%	14人	0人	3人	17人	0人	5人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
48人	48人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診、乳がん検診と同時に18日間行った。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月8日から10月31日までの間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他病	不明	
321人	302人	19人	5.9%	9人	0人	5人	0人	5人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他病	不明	
3,923人	3,614人	309人	7.9%	54人	13人	155人	0人	87人

ウ がん検診推進事業(大腸がん無料クーポン検診)

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「大腸がん検診手帳」と「大腸がん検診無料クーポン付き受診券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
3,660 人	485 人	13.3 %

※受診者数は再掲

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月8日から10月31日までの間、PSA値測定(前立腺特異抗原検査)を実施した。()内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	がん	肥大	他病	不明	
2,045 人 (1,144 人)	1,896 人	149 人	7.3 %	24 人	14 人	73 人	3 人	0 人	35 人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月8日から10月31日までの間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検受診者	精検受診率	未受診者
C 型	214 人	213 人	1 人	0.5 %	1 人	100%	0 人
B 型	214 人	213 人	1 人	0.5 %	1 人	100%	0 人

3 健康教育

(1) ヘルスセミナー(血液さらさら編)

コレステロール高値者のための実践講座として、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。また、自分の食事を振り返るための調理実習も行った。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
2 回	38 人	71 人

(2) ヘルスセミナー(血管のびのび編)

高血圧を改善するため、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
2 回	32 人	60 人

(3) 向日市食生活改善推進員養成講座

市民が主体的に行う適切な食生活を個人から地域へと広げるボランティア活動の担い手として、食生活改善推進員を養成した。昭和58年から実施しており、今期は8回目の養成講座となった。

また、一部を一般公開し、食育推進講座と兼ねて実施した。

受講修了者	講座回数	延べ参加者数
24 人	8 回	185 人

(4) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。8種類のテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
14 団体	43 回	386 人

(5) 歯のひろば

市民を対象に、京都府乙訓歯科医師会との共催で実施した。

ア 内容 歯科医師による歯科健診・歯科相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト）、骨強度測定、血管年齢測定、健康教育（パネル展示）を実施した。食育コーナーを設け、食育に関する啓発活動を行った。

イ 実施日 6月8日（土）

ウ 来所者数 228人

4 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じて健康手帳やパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	健康相談
6 回	20 人	12 人	19 人

イ 30歳代の健康診査結果説明会（指定日が都合のつかない人には、別の日に個別で実施した。）

実施回数	参加者数
3 回	156 人

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉えて、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
42 回	3,087 人

5 訪問指導

保健師、看護師、管理栄養士による訪問指導を実施した。がん検診や各種健診後の要指導者に対する訪問を行った。

42 人

6 健康手帳の配布

市民の自覚的な健康づくりに役立ててもらえるよう、各種健（検）診の記録や正しい食生活に関する資料、身近な健康づくり情報を盛り込んだ「私の健康記録」を作成し配布した。

配布数：502冊

7 その他の健康づくり

チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から実施している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者 : 89 人

延べ認定者数 : 81 人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 乳幼児健康診査

乳児前期健康診査、乳児後期健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施した。

健診内容は、内科及び歯科健診（1歳6か月児、3歳児）による疾病のチェック及び発達観察、保健、栄養、歯科指導等であった。

3歳児健康診査では、視力検査、尿検査も実施している。

		実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果		
					異常なし	要精検 要注意	未実施
乳児前期健康診査		12	393	382	279	103	0
乳児後期健康診査		12	403	387	248	139	0
1歳6か月児 健康診査	一般	12	455	436	243	193	0
	歯科	12	455	434	376	58	0
3歳児健康診査	一般	12	482	475	217	258	0
	歯科	12	482	475	346	128	1
	視覚	12	482	475	440	34	1
	聴覚	12	482	474	469	4	1

2 3歳児健康診査精密検査

項目	精密検査対象者		受診者	受診結果		
	人数	要精検率		異常なし	経過観察	要治療
耳鼻科	2人	0.4%	1人	0人	1人	0人
眼科	22	4.6	13	3	9	1
検尿	18	3.8	16	9	7	0
その他の所見	2	0.4	1	0	1	0

3 妊婦健康診査（平成25年度主要事業）

母子保健法の改正により、平成9年度から市が実施している。平成20年度から回数を5回に拡充、平成21年度からは14回に拡充するとともに委託先を京都府医師会だけでなく、大阪府医師会及び京都府助産師会にも拡大した。平成23年1月からHTLV-1抗体検査を追加、平成23年4月からクラミジア検査を追加している。

（単位：人）

	受診者数	健 診 結 果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	5,224	4,978	103	12	131
前期血液検査（貧血、血糖）	433	423	6	3	1
血液型	428				
中期血液検査（貧血、血糖）	430	327	38	2	63
後期血液検査（貧血）	353	276	28	0	49
血液検査（免疫検査）	434	413	18	3	0
B群溶血性レンサ球菌検査	372	348	15	0	9
HIV抗体価検査	432				
超音波検査（1～4回）	1,658	1,623	20	1	14
HTLV-1抗体検査	451	449	2	0	0
クラミジア検査	426	422	2	1	1

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	418	413	5	0

○ 妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付している。

助成人数 44人（実人数）

内訳 平成24年度の健診一部助成人数 延べ21人

平成25年度の健診一部助成人数 延べ35人

4 健康教育

(1) プレママスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師、助産師、看護師、栄養士による教室を実施した。

実施回数	対象者数	受講者数	延べ受講者数
20回 （全4回、5回シリーズ）	498人 うち初妊婦248人	116人 受講率23.3%	321人 うち初妊婦202人 うち配偶者 9人

※ 第2回目をプレママクッキングとし、向日市食生活改善推進員協議会と共催で実施した。

(2) 離乳教室

離乳食の必要性や実際の与え方、進め方等について、講話や試食を実施した。

実施回数	対 象	対象者数	受講者数	受講率
12回	生後4～5か月児の保護者	408人	245人	60.0%

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結果（実数）	
					ポニーの学校へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
前期	6回	97人	26人	92人	3人	3人
後期	6	81	10	83	3	11

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防のみならず、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

○ 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
5回	479人	378人	78.9%	75.6人

○ 歯科健診結果

虫歯保有者	虫歯保有率	総虫歯本数
22人	5.8%	63本

(5) 1歳児教室

乳児後期健康診査で、運動発達、精神発達の援助を必要とする児を対象に、保健師、子育てセンターの保育士でグループ指導を実施した。平成25年度は後期健康診査と同日に実施した。医師による経過観察を必要とする児に対しては、医師の診察を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
11回	31人	26人	83.9%

(6) 2歳児教室

主に1歳6か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
6回	66人	48人	72.7%

(7) リフレの会（リフレッシュ教室のOB会）

子育てに悩みや不安を抱えたり、ストレスをため込んでいる子育て中の母親を対象に、心のリフレッシュを図り、子育てを支援する講座の受講者のOB会を実施した。

実施回数	来所者数	子ども数
2回	24人	6人

(8) ブックスタート

平成23年8月から乳児後期健診時に絵本の読み聞かせを実施し、ブックスタートパック（絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット）を配布した。

実施回数	来所者数	配布数
12回	402人	804冊

5 健康相談

(1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来所児数			1回平均来所児数
	乳児	幼児	計	
20回	314人	403人	717人	35.9人

(2) 発達相談、ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問、健診、相談等から発見された児童の事後指導として実施した。

	相談回数	（来実所人児数）	（来延べ所人児数）	相談結果				他機関への紹介			
				継続	助言により改善	正常・改善	就学	ポニーの学校へ	ことば室・きこえへ	医療機関へ	発達相談
発達相談	120回	128人	177人	81人	11人	0人	36人	7人	1人	3人	0人
ことばの相談	12回	19人	32人	6人	2人	4人	3人	0人	0人	0人	4人

6 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

京都府から未熟児家庭訪問事業の移管を受けた（平成25年度主要事業）。

○ 家庭訪問数 (単位：人)

妊婦	産婦	新生児	乳児	幼児
9	432	16	469	118

- 里帰り訪問事業 12人（再掲）
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 423人（再掲）
- 養育支援家庭訪問事業 延べ人数 297人（再掲）
- 未熟児家庭訪問事業 延べ人数 51人（再掲）

7 その他

(1) 2歳6か月児アンケート

2歳6か月児歯の健康教室の案内通知時に、児童の発達、育児に関するアンケートを同封した。アンケートは、教室への来所時に回収した。アンケートの結果、必要児には、育児相談や精密検査の受診勧奨などを行った。また、2歳6か月児歯の健康教室未受診児で、経過観察が必要な児に対しては、未受診児アンケートを送付し、状況確認を行った。未受診児アンケート未返送者に対しては、電話等で状況確認を行った。

通知数	回収数	回収率	結 果					
			異常なし	要 フ オ ロ ー				
				電話相談	経過観察	要 精 検	連絡とれず	その他乳児訪問等
479通	396通	82.7%	296人	0人	84人	1人	0人	15人

(2) 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小 計	継続通園児数		小 計	合 計	合計	
4月	週1回	2人	2人	週1回	20人	23人	週1回	22人	23人
	月1回	0		月1回	1		月1回	1	
7月	週1回	2	2	週1回	22	25	週1回	24	25
	月1回	0		月1回	1		月1回	1	
10月	週1回	2	2	週1回	24	26	週1回	26	26
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	
1月	週1回	2	2	週1回	26	28	週1回	28	28
	月1回	0		月1回	0		月1回	0	

(3) 母子健康手帳の交付、マタニティマークの配布

平成25年度から母子健康手帳の交付を市民課から健康推進課に移管した。併せてマタニティマークの配布と保健師、助産師による保健指導を実施した。

交付件数 494件

8 不妊治療助成事業（平成25年度主要事業）

不妊治療の経済的負担を軽減するため、向日市不妊治療助成事業実施要綱に基づき、平成15年10月1日から実施している。平成23年4月から人工授精による治療も助成対象とするとともに、助成額の拡充を図った。（保険適応のみの場合は6万円。人工授精を含む場合は10万円）

助成者数 延べ118人（うち人工授精による治療助成者 43人）

9 風しんワクチン接種緊急助成事業

先天性風しん症候群の発生を防止し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを進めるために、緊急母子保健対策として風しんワクチンの接種費用の一部を助成した。

助成対象者 満19歳以上の妊娠を希望する女性及び妊娠している女性の配偶者
 助成者数 173人（女性 127人、男性 46人）

② 養育医療給付事業費（医療保険課）

母子保健衛生法第20条の規定により、身体の発育が未熟なまま出生し、医師が指定医療機関への入院養育が必要と認めた乳児に対し、入院医療費等の給付を行った（平成25年度主要事業）。

受給者数（1か月当たり平均）	延べ受診件数	支給額
1人	31件	2,548,169円

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（健康推進課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年5月に向日市健康増進センターを開設した。平成18年度から指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理しており、平成23年度から5年間の指定管理者に（株）オージースポーツを指定している。

施設内の照明器具をLED化した（平成25年度主要事業）。

指定管理料：31,491,000円

1 市民温水プール利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

1.5時間までの利用者数	73,099人	（月平均 6,092人）
1.5時間以上の利用者数	4,927人	（月平均 411人）
無料券及びピロティ利用者数	3,849人	（月平均 321人）
水中ウォーキング（8月は休講）	404人	（月平均 37人）
スイミングスクール延べ利用者数（8月は休講）	48,669人	（月平均 4,424人）
市民温水プール利用者数合計	130,948人	

(2) 営業日数 317日

(3) 市民無料遊泳デー

ア 実施日 2月16日（日）、3月6日（木）

イ 利用者数 2月16日：137人 3月6日：39人

(4) 利用者意向調査事業（平成25年度主要事業） アンケート回収数 301

2 健康増進センター利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

定期利用会員	157,025人	（月平均 13,085人）
うち市内	83,694人	（53.3%）

都度利用者 6,411人 (月平均 534人)
うち市内 2,124人 (33.1%)

健康増進センター利用者数合計 163,436人 (月平均 13,620人)
うち市内 85,773人 (52.5%)

(2) 営業日数 333日

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費 (環境政策課)

市民の理解と協力により、暮らしの周辺の環境美化対策を推進し、清潔で美しいまちづくりに努めた。

1 新環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「新向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

ごみのないきれいなまちを目指して、市民、団体、事業所、市などが一体となって「ごみ拾い・清掃」を実施した。

開催日	平成25年5月26日(日)	平成25年11月24日(日)
参加人数/団体数	約3,500人/97団体	約2,500人/77団体

(2) 環境保全啓発事業の推進

- ・環境月間 平成25年6月1日(土)～30日(日)
- ・環境月間事業 河川水質調査、大気汚染調査
- ・環境市民講座
 - 「グリーンカーテン講習会」 平成25年4月25日(木)、5月9日(木)
 - 「地域の力によるまちづくり」 平成25年7月26日(金)
 - 「ごみは意外に雄弁だ」 平成25年11月20日(水)
 - 「きれいな街とうつくしい街」 平成26年2月18日(火)

2 狂犬病予防対策の実施

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

狂犬病予防集合注射期間 平成25年4月17日(水)～19日(金) 208頭(集合注射実施頭数)
予防注射頭数 1,690頭

3 ふん害対策の実施

マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

4 蜂駆除用防護服の貸出支援

個人で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂防護服を貸し出した。

(貸出件数 7件)

5 空き地雑草除去対策

空き地の管理についての指導及び環境美化対策の啓発等を積極的に推進した。

(指導件数 10件)

6 不法投棄対策

(1) 環境整備員による日々の分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した（通年。平日の午後）。

(2) 環境美化推進強化活動事業（緊急雇用創出事業（平成25年度主要事業））の実施

不法投棄パトロール及びポイ捨てや犬のふんの放置を防止する啓発活動を向日市シルバー人材センターに委託し、平成25年4月から平成26年3月まで実施した。

(3) 立看板の設置等による啓発を行った。

7 ごみの減量と再資源化の推進

ごみの減量と資源の再利用を促進するため、次の事業を実施した。

(1) リサイクル「ひまわり市」の開催

家庭から出る不用品の再使用を図るため、フリーマーケットを開催した。

ア 開催日 5月18日（土）、10月26日（土）（雨天のため中止）

イ 出店数 49店（5月）

ウ 来場者数 約1,800人（5月）

(2) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器を購入し設置する者に対して、購入費の一部を補助した。

年 度	25	24	23	22	21
補助世帯数	9件	1件	6件	6件	15件
補助金交付総額	53,100円	10,000円	33,000円	44,500円	96,600円

(3) 紙パックリサイクル事業の推進

ア 目 的 ごみの減量及び資源の有効利用を図る。

イ 回収量 約1.6t

ウ 回収場所 20か所

(4) 廃食油回収活動支援事業の推進

廃食油回収活動を奨励し、ごみの減量を図るため、回収団体に対し、回収用容器及びのぼり旗を無償貸与した。平成25年度は11団体で合計2,577.0リットルを回収した。

8 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別 \ 年 度	25	24	23	22	21
大 気 汚 染	5	2	2	5	4
水 質 汚 濁	0	0	4	3	6
騒 音	7	10	4	6	4
振 動	0	0	0	0	1
悪 臭	4	3	3	5	11
そ の 他	5	9	3	7	4
計	21	24	16	26	30

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 平成25年 5月1日（水）～9月30日（月）

注意報発令件数（乙訓地域） 1件

9 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別 \ 年 度	25	24
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数	19	18
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	44	43
騒音規制法に基づく特定施設数	334	330
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	64	60
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	497	479

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別 \ 年 度	25	24
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数	10	8
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	40	40
振動規制法に基づく特定施設数	274	272
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	31	27
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	171	140

10 調査・測定の実施状況

(1) 騒音・振動関係

ア 環境騒音実態調査（24時間測定）

(ア) 一般地域（道路に面する地域以外の地域）

平成25年11月20日（水）～21日（木）	1 地点
平成25年12月 4 日（水）～ 5 日（木）	2 地点
平成25年12月24日（火）～25日（水）	2 地点
平成26年 1 月 6 日（月）～ 7 日（火）	1 地点

(イ) 道路に面する地域（自動車騒音常時監視）

平成25年12月 3 日（火）～ 4 日（水）	3 地点
-------------------------	------

イ 新幹線鉄道騒音等監視測定

平成25年10月18日（金）、22日（火）及び11月 1 日（金）に京都府、2 市 1 町合同で測定した。
なお、市内測定は11月 1 日（金）に 2 地点で実施した。

(2) 大気汚染関係

市内主要箇所における一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査
住宅地域、商業地域、幹線道路沿線等

平成25年 6 月24日（月）・6 月25日（火） 午後 0 時30分～ 8 時30分 合計 6 地点

(3) 水質汚濁関係

公共水域調査（河川、用水路） 4 河川／ 5 地点

第 1 回	平成25年 6 月18日（火）
第 2 回	平成25年 9 月25日（水）
第 3 回	平成25年12月20日（金）
第 4 回	平成26年 3 月25日（火）

11 公衆浴場確保対策補助金

市民の保健衛生の向上のため、市内 3 か所の公衆浴場に対し 1 件 9 万円の補助金を交付した。

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（環境政策課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、応分の負担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（環境政策課）

本市においては、市民一人1日あたり約570gのごみが、一般家庭から排出された。

これらのごみの収集は、可燃物を週2回、資源物（分別収集）月2回、粗大ごみや不燃物は随時実施し、市民の協力により、ごみの減量及び適正処理に努めた。（収集量：乙訓環境衛生組合統計）

1 ごみ等収集量

(1) 一般家庭ごみ

種 別	収集量 (t)
可 燃 物	10,182.2
分 別 収 集	921.2
不 燃 物	92.2
粗 大 ご み	95.2
合 計	11,290.8

(2) 事業系ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	3,175.2
分 別 収 集	0.0
不 燃 物	0.0
粗 大 ご み	121.4
合 計	3,296.6

○有料ごみ

処 理 件 数	2,992件
手 数 料 総 額	5,533,600円

2 分別収集量（内訳）

分 類	収 集 量 (t)	割 合 (%)
空 カ ン	111.4	12.1
空 ビ ン	321.9	34.9
そ の 他 不 燃	234.7	25.5
ペ ッ ト ボ ト ル	83.9	9.1
その他プラスチック	155.1	16.8
廃 乾 電 池	9.1	1.0
蛍 光 灯	5.2	0.6
合 計	921.2	100.0

※端数処理のため内訳と合計は一致しない。

3 ごみの出し方・分け方カレンダーの配布

ごみの減量化・再資源化、ごみの適正な出し方に関する啓発を行うことに加え、ごみ排出日をより分かりやすくするため、ごみの出し方・分け方カレンダーを作成し、約17,000部を各戸配布した。

4 分別収集適正排出指導の徹底

分別収集を円滑に、より効率的に行うため、収集日等が遵守されていないステーションにおいて、定期的な巡回パトロールや立看板の設置を行うとともに、広報による啓発を実施するなど、マナーの向上に努めた。

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

① し尿収集費（環境政策課）

1 し尿くみとり

市民生活の衛生及び環境保全を図るため、委託業者により、し尿収集を行った。

くみとり 戸数	人頭制		130 戸	くみとり家屋件数 154件
	計量制	一般家庭	14 か所	
		事業所	10 か所	
仮設トイレ			35 か所	
くみとり量				421 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽

設置数	150 基
浄化槽汚泥収集量	281 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。